

## 再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

|   |                              |   |        |   |                  |
|---|------------------------------|---|--------|---|------------------|
| 事業名   | 一般国道 <sup>おおわだ</sup> 6号大和田拡幅 | 事業区分  | 一般国道   | 事業主体  | 国土交通省<br>関東地方整備局 |
| 起終点   | 自：茨城県日立市神田町<br>至：茨城県日立市大みか町  | 延長  | 3.3 km |   |                  |
| <b>事業概要</b><br>一般国道6号は首都圏から太平洋沿岸部を縦貫する主要幹線道路で、茨城県県南地域及び県北地域の都市連担軸である。当該区間（2車線）の交通量（33,893台/日、混雑度1.90（H17セキス））は、並行する常磐道（24,267台/日）より多く、過大な交通需要を担っている。<br>大和田拡幅整備は、日立市南部における交通渋滞の緩和するとともに、安全性の確保、茨城県と日立市が進めている石名坂多賀線（山側道路）との連携および茨城港日立港区と常磐道日立南太田IC間のアクセス性の向上による地域産業の発展を目的に進めている延長3.3kmの拡幅事業である。  |                              |   |        |   |                  |
| H18年度事業化  |                              | S60年度都市計画決定   |        | H21年度用地着手   |                  |
| 全体事業費   |                              | 約74億円   |        | 事業進捗率   |                  |
| 計画交通量   |                              | 25,800~37,000台/日  |        | 工事未着手   |                  |
| 費用対効果分析結果   |                              | 総費用：(残事業)/(事業全体)<br>54/63億円<br>事業費：46/54億円<br>維持管理費：8.6/8.6億円 |        | 総便益：(残事業)/(事業全体)<br>139/139億円<br>走行時間短縮便益：120/120億円<br>走行費用減少便益：5.2/5.2億円<br>交通事故減少便益：13/13億円 |                  |
| B/C (事業全体)  |                              | 2.2   |        | 基準年：平成22年   |                  |
| B/C (残事業)   |                              | 2.6   |        |   |                  |
| <b>感度分析の結果</b> ：残事業について感度分析を実施<br>交通量：B/C=1.6~3.5（交通量±10%）<br>事業費：B/C=2.3~2.8（事業費±10%）<br>事業期間：B/C=2.3~2.6（事業期間±20%）  |                              |   |        |   |                  |
| <b>事業の効果等</b><br>(1) 交通混雑の緩和 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該区間の損失時間は約64千人時間/年・kmで、全国平均（20.3千人時間/年・km）の約3倍。</li> <li>・大和田町交差点付近では、損失時間209千人時間/年・kmで全国平均（20.3千人時間/年・km）の約10倍。</li> <li>・大和田拡幅整備により、渋滞の緩和が見込まれる。</li> </ul> (2) 安全安心な通行の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道6号の当該区間には、大みか町6丁目交差点や大和田町交差点付近の単路部（石名坂地先）で死傷事故が多く発生。</li> <li>・大みか町6丁目交差点では死傷事故率は、384件/年億台・kmであり、全国平均（102.6件/億台キロ）の約4倍となっている。</li> <li>・大和田拡幅整備により、交通事故の減少が期待される。</li> </ul> (3) 安全性の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道6号の当該区間には、不連続の歩道や狭小幅員（W=1.4m）区間（延長約1.6km：対象区間の半分程度）があり、歩行者および自転車通行の安全性に問題がある。</li> <li>・大和田拡幅整備により、自転車歩行者道が整備され、良好な歩行者空間と安全な交通が確保される。</li> </ul> |                              |   |        |   |                  |
| <b>関係する地方公共団体等の意見</b><br>・茨城県知事の意見：「一般国道6号大和田拡幅は、日立市南部の交通渋滞の緩和、安全性の確保、地域連携の強化が図られるとともに、茨城港（日立港区）や常磐道日立南太田ICへのアクセス性が向上し、物流機能の効率化や地域産業の振興に大きく寄与することから、より一層のコスト縮減を図りながら、早期整備をお願いします。」  |                              |   |        |   |                  |
| <b>事業評価監視委員会の意見</b><br>事業の継続を承認する。  |                              |   |        |   |                  |
| <b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b><br>茨城港が重要港湾の中から重点港湾に選定（H22年8月3日）され、大和田拡幅周辺地域は港湾を核とした地域産業振興が期待されている。  |                              |   |        |   |                  |
| <b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b><br>平成24年度に供用予定の茨城県と日立市が進めている石名坂多賀線が接続する交差点を先行しながら工事着手し、順次橋梁の架替え（茂宮川橋、石名坂橋）及び道路改良工事等を実施し、早期供用に向けて引き続き事業を進める。  |                              |   |        |   |                  |

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

H22年度の用地取得率は5%の予定であり、工事着手予定。引き続き4車線化の拡幅整備に向けた事業促進を図る。

施設の構造や工法の変更等

—

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。